



- 山手線原宿駅から徒歩10分。表参道改札口から出た先に、案内板があります。明治神宮に沿って代々木競技場方向へ進んだ左前方です。
- 渋谷駅から徒歩15分。ハチ公口で降り西武デパート方向へ進み、丸井前のT字路を左に曲がり、緩い坂道(公演通り)を上りきった突き当たりです。
- バスを利用する場合は、渋谷駅からNHKホールと同じ敷地内にある「NHKスタジオパーク」行き直行便があります。バス乗り場は、渋谷駅ハチ公向かいの「渋谷マークシティ」前、2番乗り場です。
- NHKホールには駐車場はありません。渋谷区役所前公共駐車場(03-5458-8801)をご利用ください。

日時

2012年3月30日(金) 開場/18:00 開演/19:00 終演予定/21:30

会場

NHKホール

入場料(消費税込)

S席 12,000円 A席 9,000円 B席 6,000円 C席 3,000円

前売り

2012年1月7日(土) 10:00 発売開始

e+ イープラス 座席選択

<http://eplus.jp/> <インターネット・携帯受付>
ファミリーマート(店頭販売)

チケットぴあ
Pコード: 416-787

<http://pia.jp/t/> <インターネット・携帯受付>
0570-02-9999 <音声応答電話予約 無休>
チケットぴあ、サークルK・サンクス、
セブン-イレブン(店頭販売)
※毎週火・水2:30~5:30はシステムメンテナンスのため受付休止

ローソンチケット
Lコード: 36432

<http://l-tike.com/> <インターネット・携帯受付>
※インターネットのみ座席選択可
※発売日初日特別電話(1月7日10:00~12:00のみ)
0570-084-629 <オペレーター受付>
※1月7日(土)12:00以降の通常電話予約
0570-000-407 <オペレーター受付>(10:00~20:00)
0570-084-003 <音声応答電話予約 無休>
ローソン(店頭販売)

お問い合わせ

ハローダイヤル TEL. 03-5777-8600 / 8:00~22:00(無休)

NHKプロモーション ホームページ <http://www.nhk-p.co.jp/concert/>

※公演中止の場合を除き、チケットのお申し込み・ご購入後の変更、キャンセル、払い戻しはできませんので、あらかじめご了承ください。
※やむを得ぬ事情により、出演者、演目、開演時間等に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※就学前のお子様のお同伴・入場はご遠慮ください。 ※ネットオークション等での営利目的による転売はお断りします。

NHK
バレエの
饗宴
2012

2012.3.30 FRI (19:00)

NHKホール(東京・渋谷)

The National Ballet of Japan
新国立劇場バレエ団

Miyako Yoshida
吉田都



Tani Momoko Ballet
谷桃子バレエ団



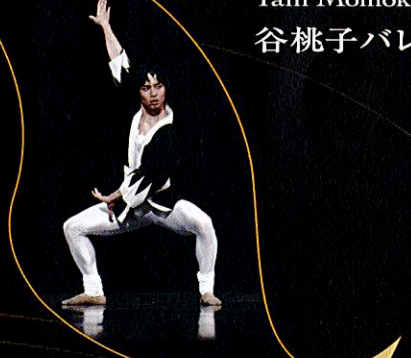
Asami Maki Ballet Tokyo
牧阿佐美バレエ団



Noism I



The Tokyo Ballet
東京バレエ団



指揮: 大井剛史 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団
主催: NHK NHKプロモーション

2012年1月7日(土) 発売開始

Ballet Festival

NHK バレエの 饗宴 2012

日本を代表するバレエ団や
バレエダンサーが一堂に会する夢の饗宴。
古典バレエの名作からコンテンポラリー、
オペラの中のバレエまで
幅広く奥深いバレエ芸術の魅力を
存分にお楽しみください。

指揮：大井剛史

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

The National Ballet of Japan

Cave of Jewels from Aladdin

新国立劇場バレエ団

「アラジン」から「財宝の洞窟」

振付：デヴィッド・ピントレー 音楽：カール・デイヴィス

出演：八幡顕光、川村真樹 ほか



photo: Hidemi Seto
新国立劇場バレエ団
「アラジン」(2011年公演より)

1997年新国立劇場の開場とともに活動を開始。同年10月24日に「眠れる森の美女」でデビューした。古典作品から、アシュトン、バランシン、プティ、マクミランらによる20世紀の名作、さらにはエイフマン、ドゥアト、サーブといった現代振付家の作品に至る幅広いレパートリーを持つ。日本バレエ界に多大な貢献をしてきた島田廣、牧阿佐美といった歴代の芸術監督の後を継いで、2010年に現代英国を代表する振付家デヴィッド・ピントレーが芸術監督に就任。バレエ団は「A New Direction」という新しいテーマを掲げ、さらに活動の幅を広げている。今回上演される「アラジン」は2007年ピントレーが新国立劇場バレエ団のために振り付けた全幕バレエであり、国際的な関心を集めた。

Tani Momoko Ballet

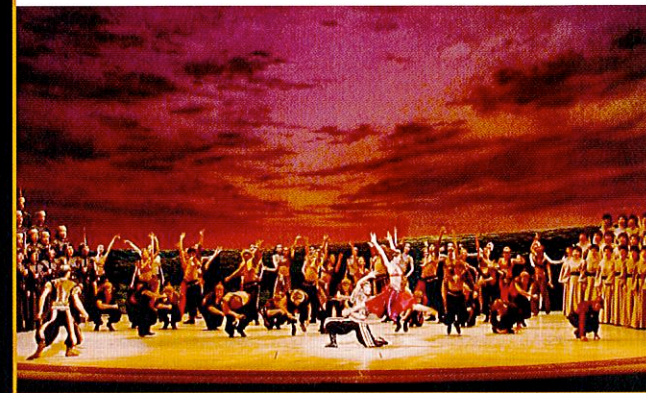
Polovetsian Dances from Prince Igor

谷桃子バレエ団

歌劇「イーゴリ公」から 「ダッタン人の踊りと合唱」

振付：望月則彦 音楽：ボロティン 合唱：藤原歌劇団合唱部、二期会合唱団

出演：赤城圭、齊藤拓、今井智也、三木雄馬、永橋あゆみ、朝枝めぐみ ほか



谷桃子バレエ団
「ダッタン人の踊りと合唱」
（第51回NHKニューイヤーオペラコンサートより）

日本バレエ界のプリマとして一世をふうびした谷桃子が1949年に設立。「白鳥の湖」全幕はその詩的で優雅な舞台で絶賛を博す。「ドン・キホーテ」「ラ・バヤデル」等の作品を日本初演。創作公演にも積極的に取り組み、20世紀の前衛派の巨匠クルベリの代表作「令嬢ジュリー」「ロメオとジュリエット」をいち早く紹介するほか、内外の振付家を迎えての創作バレエ公演を毎年開催している。芸術監督望月則彦は物語バレエ作品を得意とし「リリオム」「レ・ミゼラブル」(平成22年度文化庁芸術祭大賞)など文芸名作のバレエ化に次々挑み、好評を博している。谷桃子は団の主宰および総監督として振付・後進の指導を行う傍ら、日本バレエ協会顧問を務める。1984年紫綬褒章、1993年勲四等宝冠章受章。

The Tokyo Ballet The Kabuki

東京バレエ団 「ザ・カブキ」から

振付：モーリス・ベジャール 音楽：黛敏郎

出演：柄本弾、二階堂由依 ほか



photo: Kiyonori Hasegawa

1964年に創設。創立以来一貫して、古典の全幕作品から現代振付家の名作まで幅広いレパートリーを誇っており、なかでも現代バレエ界を代表する三大振付家—M.ベジャール、J.キリアン、J.ノイマイヤーが東京バレエ団のために振り付けた作品は大きな成功を取っている。これまでに、24次704回の海外公演を行っており、パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラなどヨーロッパの名だたる歌劇場に数多く出演し「日本の生んだ世界のバレエ団」として国内外で高く評価されている。「仮名手本忠臣蔵」を原作とする「ザ・カブキ」は、巨匠ベジャールが東京バレエ団のために創作した大作として世界的な注目を集め、1986年の初演以来、国内57回、ヨーロッパ、ロシア、南米の主要オペラハウスで115回演じられてきた人気作品。2012年5月には、初演年以来久々にパリ・オペラ座(ガルニエ宮)での上演が決定している。

Noism1

solo for 2

Noism1

「solo for 2」

演出振付：金森穰

音楽：バッハ

演奏：渡辺玲子(バイオリン)

出演：井関佐和子、宮河愛一郎、

藤井泉、櫛田祥光、

中川賢、真下恵、

小尻健太(ゲスト) ほか

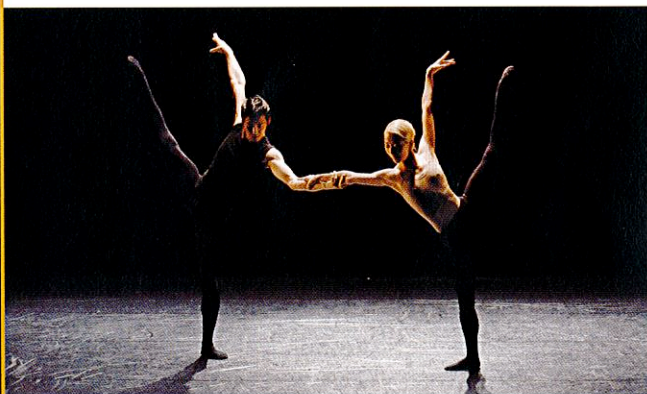


photo: Takashi Shikana
Noism 09 「academic」
(2009年公演より)

りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館が、舞踊部門芸術監督に金森穰を迎えたことにより、劇場専属のダンスカンパニーとして2004年4月設立。日本初、ヨーロッパスタイルのプロフェッショナル・ダンス・カンパニーとして、次々に発表する独創的な企画、作品は、日本のコンテンポラリー・ダンス界を牽引している。07年以降、海外7か国10都市でも公演。09年9月には、正式メンバーで構成されるNoism1(ノイズムワン)と、研修生が所属するNoism2(ノイズムツー)の新体制をスタートさせた。新潟から日本の劇場文化発信の一翼を担う存在として、益々大きな期待と注目を集めている。第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞受賞。

Asami Maki Ballet Tokyo

Grand Pas Classique from Raymonda

牧阿佐美バレエ団

「ライモンダ」第3幕から グラン・パ・クラシック

振付：マリウス・プティパ 改訂振付：テリー・ウエストモーランド

音楽：グlazノフ 出演：伊藤友季子、京當侑一龍 ほか



photo: Takashi Shikana

牧阿佐美バレエ団は、日本バレエ界の草分けの一人である橋秋子によって1933年に創設された橋秋子バレエ研究所、橋秋子バレエ団を母体として1956年に発足した。1978年に最初の海外公演を行い、イタリア、フランスなどの20都市で41公演を上演したのを始め、2008年にはスペインでローラン・プティが牧阿佐美バレエ団に振り付けた「デューク・エリントン・バレエ」の上演を行った。古典の全幕バレエから近代の著名な振付家の作品まで幅広いレパートリーを持ち、世界初演や日本初演となる作品も数多く手掛けている。この他、日本の歴史を題材にした作品、古典の改訂振付をはじめとする、牧阿佐美や三谷恭三のオリジナル作品の上演にも意欲的に取り組み、常に高い評価を得ている。

Miyako Yoshida

吉田都



photo: A.I.Co.Ltd.

東京都出身。1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。英国ロイヤル・バレエスクールに留学後、84年サドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ団(現パーミンガム・ロイヤル・バレエ団)に入団。95年英国ロイヤル・バレエ団へプリンシパルとして移籍。07年英国批評家協会最優秀女性ダンサー賞受賞、紫綬褒章受章、大英帝国勲章受章。確かなテクニックと音楽性、愛らしい容姿で抜群の人気を誇る、世界最高峰のバレリーナ。2010年ロイヤル・バレエ団退団後、フリーランスのバレリーナとして活躍を続けている。

※パートナー、演目については決まり次第ホームページで発表します。